

有年地区 歴史文化の視点3

24. 夢のあとー山城と山岳寺院の風景ー

【ストーリー】

中世、筑紫大道が東西に貫いていた有年地区には、山岳寺院が多数築かれた。山岳寺院とは、平安時代以降に仏教の教えの一つ、密教（天台宗・真言宗）が厳しい修行をするため山に寺院を築いたもので、有年地区には光明寺跡（現在の光明寺奥の院）と遍照院跡があり、現在も多数残された石造物や建物礎石が当時の様子を偲ばせる。

同じく山に築かれたものとして中世山城跡があり、赤松氏の時代に築かれた城跡は現在、山の中に眠ってしまっている。その眺望は昔も今も変わっていない。



有年山城跡



鶴ヶ堂城跡展望台



六道山遍照院跡



地藏立像板碑

